

これからのプラッツについて的小話

令和4年8月吉日

梅雨が明けたのに雨の続いた日もあったり、暑い日が続いたり、なかなか安定しない今年の初夏の陽気ですが、皆さま、いかがお過ごしでしょうか？

さて、突然の半ページのメッセージを送らせて頂くこととなりますが、メンバーの皆さんには一度お目通し頂ければ幸いです。これからのプラッツプログラムに関わる、スタッフが考えている想いをお伝えさせて下さい。

世界が新型コロナを気にする生活を送ることとなり、既に2年半ほどが経過しました。日本でも感染症対策を施し、様々なイベント事が縮小・中止を余儀なくされる中、その波は皆さんの生活場面の一部ともなる「交流室」にも押し寄せました。

交流室利用の制限、プログラムの縮小、そして中止…。普段の日常生活の中でさえ制限を押し付けられているにも関わらず、地域生活を支援するはずの場所、ここプラッツも、皆さんの安全のため、という理由の下、上記の制限を掛けてしまう状況となっております。そういった、言わば抑制を必要とする生活に、なかなか寄り添えていない状況となっていることを改めて反省しております。そんな反省の中、「メンバーの想いが発散できる時間を少しでも作れないだろうか。」とスタッフ一同で思いを巡らせていました。

プラッツ食堂の復活、というかプラッツのカレーの日を作るのはどうか…。PMK“**プラッツ・メンバー・会議**”の復活も良いかも知れない…等々。しかし、感染者数が増えている中、どれも何だかんだ皆さんの感染に対する不安はぬぐい切れない…。でも、メンバーの皆さんの想いを発散出来る場は徐々にでも復活させたい、増やしていきたい…！

そんな中、一つの妙案が浮かびました。

「交流室で11月頃に『文化祭』をやってみるのはどうだろうか…？」

新しい試みになりますが、コロナ禍でメンバーさん同士の交流もなかなか減ってしまい、スタッフとのやり取りも少なくなってしまう中、ふとプラッツ通信への投稿が増えたことに気が付きました。決してこの出来事全てがイコールではないと思いますが、『自分の気持ちや想いを表現する場』が交流室の「(コロナ禍での)生活する場面の一つ」として作れると良いのではないかと考え、今回のお知らせ、となりました。

まずは、『創作物(絵画等)の展示や**出し物**を中心とした』小規模での文化祭を行い、その後、徐々にプログラムの再開・新規企画の検討が出来たら、と考えています。かつ、それには、改めて皆さんメンバーさんのご意見を頂き、**一緒に今後のプラッツでの過ごし方を考えていきたい**、とも計画をしている所です。

折角の機会ですので、ツラツラと書いてしまいましたが、そうは言っても、感染者数はまた過去最大数となっており、悩ましい状況であるのは変わりません。ですが、少しでも皆さんの生活に潤いを与える時間が作れるよう、「地域『生活支援』センター」として、今後も色々と考えていきたいと思っています。

『文化祭』の詳細は**決まり次第、お伝えいたします**。これからも、皆さんのかけがえのない生活の時間が豊かになるよう、一緒に時間をこれからも過ごせたら嬉しいです。どうぞよろしく願いいたします。

地域生活支援センター プラッツ所長(名前)

毛塚 和英